

図書館の職員さんに聞いてみよう!
本のはなし

話題の
新刊本!



(一般書)
100円ショップ防災手帳
著：龍洪守人
出版：幻冬舎

「災害は、忘れた頃にやってくる」と言われています。

私たちに身近な100円ショップで用意できる防災グッズを紹介。停電や断水時のサバイバル術、避難場所や過ごす基礎知識はもちろん、様々な防災を徹底解説してくれています。

(中央図書館所蔵)



(児童書)
ホットプレートよ〜いどん!
著：さいとうしのぶ
出版：白泉社

コロナ流行時は、たいへんかつやくしてくれた「ホットプレート」。キャベツさんやにんじんさん、ピーマンさんやぶたにくさんなど、選手たちがホットプレートにやってきて、いっせいに「よ〜いどん!」でとびこんだら!? たべもの絵本の第一人者・さいとうしのぶさんの最新作。

(中央図書館所蔵)

図書館からの まめ知識

Vol.111

教科書展示会の開催について

中央図書館では、6月14日(水)～7月17日(月)まで、市内の小中学校で使用される教科書を定めるための展示を行います。

教科書展示会は、昭和23年の検定教科書制度の実施に伴い、教科書の適正な採択に資するため、教科書発行法により設けられた制度です。

この展示会は、多くの方に教科書について関心をもってもらい、子どもたちが、どんな教科書を使って勉強しているのかわかっていただくためのものです。

文部科学省は、令和6年度から小学校5年生～中学校3年生の英語でパソコンやタブレット端末で使うデジタル教科書を先行導入する方針を決めました。

当面の間は、デジタルと紙を併用し、学習内容等に応じて段階的に教科を広げ活用していくとされています。

どのような教科書か、ご来館いただき、手にとってご覧になってみてください。

図書館からのお知らせは P25

最先端デジタル体験イベント開催

4月29日・30日

美榛苑において、宇陀市最先端デジタル体験イベントが開催されました。体験イベントは6つあり①AI健康チェック、②ドローン操縦体験、③LEGOプログラミング、④YouTuber体験、⑤eスポーツ体験、⑥VR体験を実施しました。また、来場者は、初日600人、2日目は550人と2日間合わせて約1,150人の方が来場され大反響でした。

イベントに参加した高齢者からは「自分の体力年齢が分かってよかった」や、保護者は、「普段体験できないことが体験できた。また、子どもが以前からプログラミングに興味があり非常に勉強になった」などのお声をたくさんいただきました。

今後も市内の子どものためにも定期的に開催し、体験から子どもたちの将来につなげていければと思っています。



▲人気のあったYouTuber体験

交通安全キャラバン隊が来庁

5月15日

桜井・宇陀・東吉野地区交通対策協議会と桜井警察署が協働して結成した「交通安全キャラバン隊」が、キャラバン隊長に任命された奈良県警のมาสコットキャラクター「ナポくん」とともに桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、東吉野村の主要道路を啓発走行し、各市村役場において「交通安全メッセージ」の伝達および啓発物品を届けました。

各市村は、2市3村一丸となって交通安全を図っていくことを確認するとともに、ドライバーの交通マナーの向上および地域住民の交通安全意識の醸成を図りました。

日頃から交通ルール、マナーに気をつけて事故のない安全な宇陀路を目指しましょう。



宇陀商工会女性部菟田野支部交通安全功労団体表彰を受賞

5月10日

令和5年度の交通安全県民大会が斑鳩町のいかるがホールで行われ、宇陀商工会女性部菟田野支部(代表 新居好子氏)の団体が交通安全功労者(団体)表彰を受賞されました。

同団体は地元事業者と密着しながら、工業、産業の活性化と発展に向けた支援活動を推進するなか、子どもや高齢者に対する交通啓発活動も継続し、春・秋の交通安全運動期間中に、早朝の街頭立哨や通行者(車)に対する手作りの交通安全マスコット配布など、積極的に地域全体の交通安全を守ることに尽力されておられます。



▲山下知事より表彰を受ける代表の新居さん

神戸市の中学生が校外学習で田植え体験

5月10日

春の暖かい日差しが田んぼにふりそそぐなか、神戸市舞子中学校2年生の生徒184人が菟田野、室生に分かれて田植え体験を行いました。

この体験は(一社)大和飛鳥ニューツーリズムの主催で、日本人の食卓に欠かせない米が、どのように作られているのか。体験を通して、生産者や生産地の事を知って欲しいとの思いで開催されました。生徒は初めて入る田んぼに不安そうな顔をしていましたが、徐々に慣れてきたようで、田んぼで泳ぐカエルやアメンボウなどを捕まえて楽しんだり、顔に付いた泥に笑ったりと楽しんでいました。大人になっても忘れられない経験になったら嬉しいですね。



▲▼184人の生徒が田植えに挑戦



交通安全駅前街頭啓発

5月11日

春の交通安全県民運動初日に午前7時から約1時間、近鉄榛原駅周辺において、宇陀市交通対策協議会役員29人が、タスキを付け交通安全啓発活動の一環として、通勤・通学者に啓発物品を配布し、交通安全意識の高揚を呼びかけ、交通事故のない環境づくりを目指すことの声かけを行いました。

春の交通安全県民運動の実施にあたっては、次の4項目①こどもを始めとする歩行者の安全の確保②横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上③自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

④二輪車、原付車の交通事故防止(奈良県重点)を重点項目に掲げていました。

皆さんも交通安全の意識を高め、交通事故のない環境づくりを目指していきましょう。

